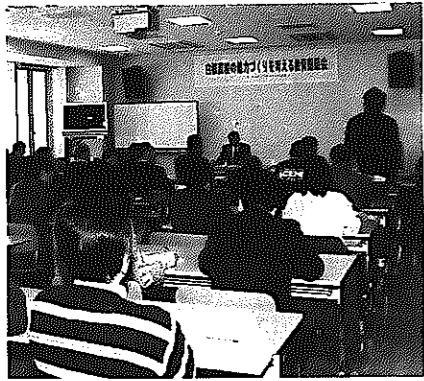


まちの話題



十二月二十三日、白根学習館で「白根高校の魅力づくりを考える教育懇談会」が開かれました。

魅力ある学校を願う意見交換

白根高校の魅力づくりを考える教育懇談会

十二月二十三日、白根学習館で「白根高校の魅力づくりを考える教育懇談会」が開かれました。これは、同校入学者数が昨年に続いて定員を割る傾向の中、このまま推移すると平成十五年には一学級減という事態が想定され、地域への影響が考えられることから、同校後援会（会長・吉沢真澄市長）が主催したものです。懇談会には、市議会議員、同校の卒業生や中学校PTAら五十人が出席。「進学率の向上、スポーツの部活動のレベルアップを」「普通科だけでなく、高齢化社会に向けた専門学科も」「地域に開かれた学校を」などの多くの意見が出されました。



十二月十九日、新飯田中学校（山田誠校長）一年生の代表八人が特別

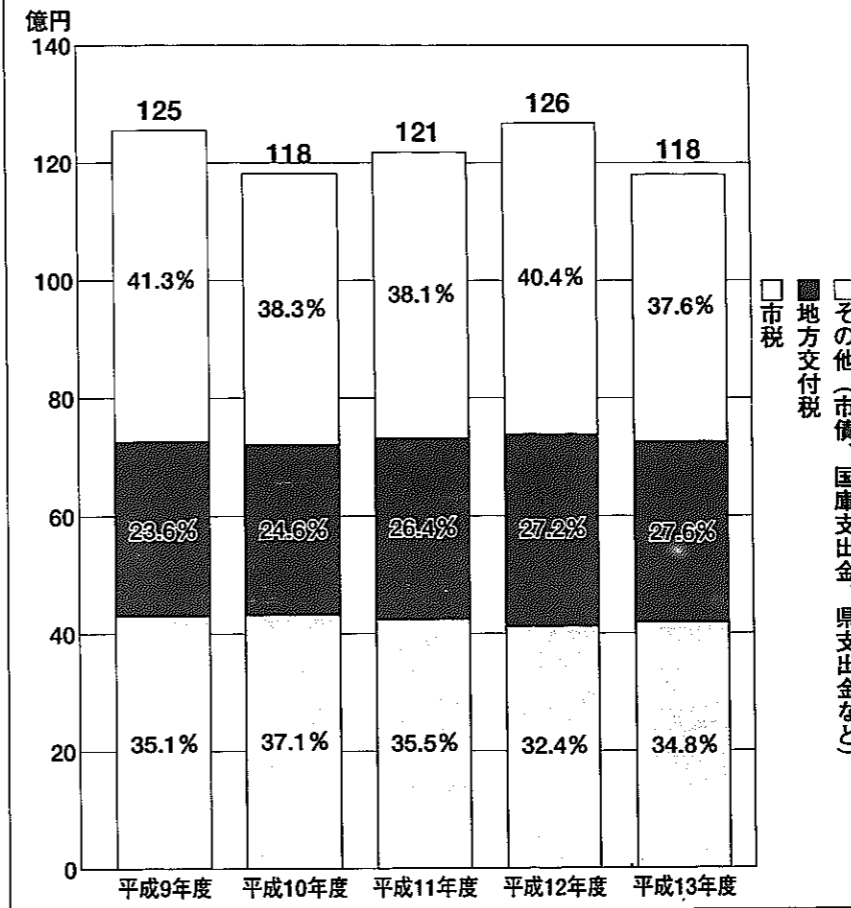
しなの園へ壁飾りを寄贈

新飯田中学校1年生

養護老人ホームしなの園を訪問し、二千一羽の折り鶴で作った壁飾りを寄贈しました。同校では総合学習の一環として、しなの園への訪問を重ねています。十二月初め、食堂の壁をにぎやかに飾ってほしいとの要望があり、一年生十六人が壁飾りを作成することになったものです。この折り鶴の壁飾りには「PEACE（平和）」という文字が描かれています。生徒たちは「お年寄りの皆さんが戦争で不安を感じないように、世界に平和がくるように願いを込めました」と話してくれました。

シリーズ掲載
市町村合併を考える①

図2 白根市の歳入（一般会計当初予算）



これは、特に住民に一番近い市町村が権限を持つことで、地域の実態に合った政策を立案し、自らの責任で総合的な行政サービスを実施できるようにしようというものです。このような地方分権に対応していくためには、専門的知識や技術を持った人材の育成や、財源の確保を図るなど、市町村が自立することが必要です。

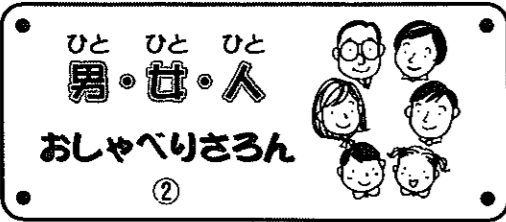
しかし今後は、市税収入の低迷や財源に対して大きな割合を占めてきた地方交付税（図2）も、国の財政状況により今までと同じようには配分されない可能性があり従って、将来に向け安定した行政サービスを提供していくためにも、白根市の在り方を検討することも含め、何らかの方策を考えていかなければなりません。

自分たちのまちの大きさは

このように市町村の役割がますます重要になっていく中で、合併をめぐる議論が高まりを見せています。まだこの議論は始まったばかりで、結論が出ているわけではありません。新潟地域では、県が示した合併パターンの十市町村で、都道府県並みの権限を有する政令指定都市を目標とした合併の研究を始めました。さらには、白根地域広域事務組合を構成する五市町村でも、この問題について検討を進めていくことにしています。

市町村合併に関する皆さんのご意見をハガキやEメールでお寄せください。

※住所やEメールアドレスは、16ページを参照ください



エンパワーメントって知っていますか



男女共同参画社会を目指し、女性も男性も区別なく、その人自身を認めていくようにと世の中が動き出しています。女性が、自らの意識と能力を高め、政治的・経済的・社会的・文化的に力を持った存在になることを、「エンパワーメント」といいます。このことは、女性が自分自身の生活を決定し、支配する能力を持つことでもあります。

さて、市内でも男性の多い職場の中で活躍している女

性はたくさんいます。例えば、市議会の女性議員は22人中2人で全体の9.1%です。この割合は県内の平均4.5%を大きく上回っていますが、市民の人口の半数以上が女性であることを思えば、まだまだ少ないようです。ところで、「エンパワーメント」を目指して、「ニューしろね女性プランの会」というグループが活動しています。行政を身近なものにと、月1回程度学習会を開いています。興味がありましたら一緒にいかがですか。問い合わせは、教育委員会生涯学習課（白根学習館内）☎372・5533まで。

講演会のお知らせ

2月22日（金）に開催される農業振興大会で、男女共同参画についての講演会が行われます。一般の人も入場できます。とても貴重な機会ですので、ぜひおいでください。

- とき 2月22日（金）午後2時30分～（農業振興大会は午後1時30分からです）
- ところ 白根学習館
- 内容 「男性にとっての男女共同参画社会」
- 講師 大阪大学大学院人間科学研究科 伊藤公雄教授

「おしゃべりさん」は白根学習館ホームページでもご覧いただけます（<http://pc2.gakushyukan-shirone-unet.ocn.ne.jp>）